

資本主義の不完全さを

自覚しよう



ふくなが まさゆき
福永 雅文

(ランチェスター戦略コンサルタント)

第一〇〇代内閣総理大臣に就任した岸田文雄氏は自民党総裁選挙において「令和版所得倍増計画」を主張した。岸田氏は「小泉内閣以降の新自由主義的政策は持てる者と持たざる者の格差と分断を生んだ」と指摘。格差を是正し、中間層を復活させるのが方針だ。具体的には、①賃上げを実施する企業への税制優遇、②介護士・保育士などの待遇改善、③子育て世帯への住居費・教育費支援などである。

昭和三十五年に池田勇人内閣の「所得倍増計画」は国民総生産を倍増させ、国民の生活水準を西欧先進国並みにする計画である。人口は増え、経済は高度に成長し、所得格差は是正され、昭和時代は「一億総中流社会」といわれた。

平成の初めに総理になった宮澤喜一氏はバブル景気の果実を国民の生活基盤を整えることに使う生活大国を構想したが、バブルが崩壊し、構想は頓挫した。平成時

代の三十年を通じて低所得層と高所得層が増え、中間層が減った。池田、宮沢の流れをくむ岸田総理は格差の是正を訴えている。

資本主義とは競争することで社会が進歩発展し、人々の生活が豊かで幸せになれるという社会制度である。だが、不完全である。競争の自由を尊重し過ぎると格差問題が生じ、社会の活力は損なわれる。

筆者はランチェスター戦略（企業間競争の勝ち方の理論と実務体系）を指導原理に、企業の競争を勝利に導こうとするコンサルタントである。企業への戦略導入や社長への助言や社員への教育を行っている。だからこそ、特段の倫理観を持つことを意識している。「社会をよりよくすることと競争に勝つことを一体的に取り組むことで企業は永続的な繁栄を遂げられる」との筆者の哲学を連載している。

成熟した市場での企業間競争はゼロサムゲームである。サムとは足し算のこと。各社の成長や衰退を足すと差し引きゼロになるという意味だ。麻雀が典型である。いわゆる「勝ち組、負け組」に分かれる。強いものが勝ち、弱いものが負ける弱肉強食である。ただし、自然界や企業間競争に当てはまるこの弱肉強食の掟を人間関係に持ち込むことは間違いである。

企業と企業の競争と、人間と人間の競争は分けて考えるべきだ。そのことをわかりやすく語った名スピーチがある。平成三十一年度の東京大学学部入学式における

上野千鶴子東京大学名誉教授の祝辞である。一部を引用する。

「ご入学おめでとうございます。あなたたちは激烈な競争を勝ち抜いてこの場に
来ることができました。その選抜試験が公正なものであることをあなたたちは疑っ
ておられないと思います。(中略)」

あなたたちはがんばれば報われる、と思ってここまで来たはずですが、冒
頭で不正入試に触れたとおり、がんばってもそれが公正に報われない社会があなた
たちを待っています。そしてがんばったら報われるとあなたが思えることその
ものが、あなたがたの努力の成果ではなく、環境のおかげだったこと忘れないよう
にしてください。(中略)

世の中には、がんばっても報われないひと、がんばろうにもがんばれないひと、
がんばりすぎて心と体をこわしたひと……たちがいます。がんばる前から、『しよ
せんおまえなんか』『どうせわたしなんて』とがんばる意欲をくじかれるひとたち
もいます。

あなたたちのがんばりを、どうぞ自分が勝ち抜くためだけに使わないでください。
恵まれた環境と恵まれた能力とを、恵まれないひととを貶めるためではなく、
そういうひととを助けるために使ってください。(後略)」

蛍雪という言葉がある。貧乏な家庭で生まれても蛍の光、窓の雪を明りにして勉

強して大学へ進学すれば、末は博士か大臣か。こんなサクセスストーリーは昭和時
代までだろう。いま、東大生の親の世帯年収は九百五十万円以上が五四・八% (出
典・東京大学学生生活実態調査 二〇一四年度) である。小さな頃から塾に通わせ、
小学校や中学校から受験をさせ、教育に投資をしなければ、子どもを一流大学に入
れることは難しい時代だ。

また、このスピーチがあった少し前に、入学者の男女比を考慮して男女別に成績
順に可否を判定していた大学 (医学部) の不正入試事件があった。女子が差別され
ていた。

新東大生に対して上野教授は、受験という激烈な競争に勝ったことは、自分の努
力があつたからだが、がんばったら報われる環境があつたからということも忘れな
いでほしい。勝ち抜くことができたがんばりやさんの東大生には、がんばっても報
われない人を助けるためにも、そのがんばれる力を使って欲しいとスピーチしたの
だ。

社会をよくする目的のために競争を是とする資本主義を私たちは手段として選ん
でいる。目的と手段を間違えてはならない。負けた人を見下すような競争ならいら
ない。人の上に立つものは競争の不完全さを自覚し、社会をよりよくするための競
争を指揮しよう。